



藍原 章 議員

糖尿病性腎症重症化 予防事業について

問 今後の取り組みの強化策に ついて問う

答 市民の健康寿命の延伸と医療費適正化を図るため、糖尿病性腎症重症化予防対策に重点的に取り組んでいきます

市民の健康寿命の延伸と医療費適正化を図るため、糖尿病性腎症重症化予防対策に重点的に取り組んでいきます。

問 人工透析患者の1人当たりの医療費は年間どれぐらいか。

答 健康福祉部長

本市の国民健康保険加入者で、人工透析が必要な慢性腎不全の方は、令和7年度では33人、年間医療費の総額は2億6816万1240円、年間1人当たりの医療費は812万6098円でした。

※糖尿病性腎症重症化：

糖尿病による腎臓の障害が進行し、腎不全などを引き起こし、人工透析が必要となる状態に進むこと

問 糖尿病性腎症重症化予防事業の取り組み状況はどうか。

答 健康福祉部長

重症化リスクの高い方に対しては、一定期間の保健指導や栄養指導の終了後も、毎年健康診査を受診されているか、検査データが悪化していないか等を、継続して経過管理し、必要に応じ訪問等を行っています。

問 これまでの事業実施による成果と課題はどうか。

答 健康福祉部長

令和6年度の糖尿病性腎症重症化予防事業の対象者は246人、受診勧奨の結果

問 今後の取り組みの強化策について問う。

答 健康福祉部長

ICTやアプリの活用として、「ビワテクアプリ」があり、現在1,400人の市民の皆

74.4%の方が医療機関を受診しています。それ以外の方にも保健指導を、154人の方に実施しました。課題としては、令和6年度の特定健康診査の受診率が42.2%で、6割近くの方が特定健康診査を受けておらず、生活習慣改善のための継続的な支援と医療機関との連携を一層強化していく必要があります。

さんが登録しています。楽しみながらポイントをため、継続して健康づくりに取り組んでいたできるように、分かりやすいチラシを作成・配布し啓発を行っています。また、糖尿病予防に特化するアプリとして、国立危機管理研究機構が「糖尿病リスク予測ツール」を配信しています。これは、年齢や健康診査の結果から糖尿病になる発症確率を予測できることで、生活習慣を見直すきっかけになり、予防に効果的であると思われますので、本市においても市民の皆さんに向けてホームページ等で周知していきます。

その他の質問

国の新たな就職氷河期世代等支援プログラムに対する高島市の取り組みについて